

4	スポーツ活動や文化活動、ボランティア活動等とおして自主・自立・助け合いの精神を備えた活力ある生徒を育成する。	○部活動紹介や一斉活動日を通じて、生徒に活動内容を具体的に伝え、積極的な参加を呼びかける。	生徒会課	【成果指標】 ・生徒が何らかの部活動に加入している。	○部活動に加入している生徒の割合が A 45%以上である。 B 35%以上45%未満である。 C 30%以上35%未満である。 D 30%未満である。	B	加入率40% (生徒数395名) 運動部69名 男子45名、女子24名 文化部89名 男子40名、女子49名	・部活動に加入している生徒の割合は、前期38.2%から12月40%と1.8%の増加がみられた。昨年度比では、運動部全体で80名→69名(男子52→45、女子28→24)43.7% 文化部全体で63名→89名(男子36→40、女子27→49)56.3% 運動部と文化部の加入率が逆転している。
		○オリエンテーションや全校集会時に、生徒会活動や学校行事等について、分かりやすく説明し、興味・関心を持たせ、主体的な参加を促す。	生徒会課	【満足度指標】 ・生徒が、生徒会活動や学校行事に満足している。	○生徒会活動・学校行事に対する生徒の満足度が A 80%以上である。 B 70%以上80%未満である。 C 60%以上70%未満である。 D 60%未満である。			
学校関係者評価委員会の詳細			・特別活動の参加に関して、できるだけ参加した生徒の変容や感想をとらえて検証をしておいてほしい。 ・部活動は、個々の生徒がやりたいことを選ぶ場所であるので、文化部加入生徒が増加しているのは望ましい結果である。音楽や美術など好きなことを追求させていってほしい。					
学校関係者評価委員会の評価を踏まえた今後の改善策			・体験的な活動に参加した生徒の声を、日常の会話やアンケートなどを通してきいていくことを継続していきたい。 ・今後も部活動や学校行事等の体験的な活動を通して、生徒の社会性や学校生活への満足感や自己肯定感等を高めていきたい。					
5	発達障害による困難さを抱える生徒を対象に、通級指導などによる自立活動を通して、自尊感情を高めるとともに、障害の改善または克服を目指す。	○通級指導を担当する教職員や外部講師等から自立活動の指導法や支援について学ぶ。これを生かし、発達障害のある生徒が学習上・生活上の困難さを改善克服できるよう取り組む。	通級指導推進	【成果指標】 ・教職員が、発達障害のある生徒に、個に応じた具体的な支援の場面をもつことができている。	○発達障害のある生徒に、個に応じた具体的な支援の場面をもつことができたとする教職員の割合が A 90%以上である。 B 80%以上90%未満である。 C 70%以上80%未満である。 D 70%未満である。	B	肯定的な評価 83% (教職員36名中) できた 28% まあまあできた 55%	・教職員の「まあまあできた」と肯定的な回答をした割合が、前期よりも低下した。支援できたと思える先生がいる一方、どのように支援をしたらよいか困っている先生もいると考えられる。支援方法は、個によって異なるため、一律で支援することは難しいが、情報共有し、支援できる環境に努めたい。
				学校関係者評価委員会の詳細				
学校関係者評価委員会の評価を踏まえた今後の改善策			・今後も多様な生徒に対して、登校時や授業時の声掛けなどの信頼関係を築くための小さな積み重ねや、指導のノウハウの共有、校内研修を通したアップデートなどを継続していきたい。					
6	効率的かつ効果的な業務遂行のため、組織的な業務改善に努める。	○教材を共有したり、ICT機器を用いたりするなどして、業務改善を推進する。特に、メールや校内掲示板等を利用することで、紙文書の使用が縮減されるようにも取り組む。 ○定時退庁日の提示等により、勤務時間を意識した働き方を浸透させる。	教頭	【努力指標】 ・教職員がICT機器等を用いて、業務改善につながる工夫をしている。	○ICT機器等を用いて、業務改善につながる工夫をすることができたと自己評価した教職員が、 A 80%以上である。 B 70%以上80%未満である。 C 60%以上70%未満である。 D 60%未満である。	C	肯定的な評価 67% (教職員36名中) できた 14名 まあまあできた 10名	・欠席連絡、授業アンケート、会議等でのペーパーレス化など、教員全体の日常的業務におけるICT化は着実に進んでいる。今後、個別での授業教材や評価等での使用のノウハウなどについて、教科間、学年間での連携を強化して、教職員間で効果的な取組み方を協議しながら、個々のICT機器の活用スキルを高めるとともに、時間外勤務時間の縮減にもつなげたい。
				学校関係者評価委員会の詳細				
学校関係者評価委員会の評価を踏まえた今後の改善策			・アンケート項目の聞き方の文言を工夫したい。 ・アンケート内容の改善及び結果資料の昼夜での書式の統一を図り、よりわかりやすい資料づくり、結果の公表等につなげたい。					